国際協力人材赴任前オリエンテーション
（専門家等）受講案内

目次

Ⅰ．国際協力人材赴任前オリエンテーションの概要

別添

１.国際協力人材赴任前オリエンテーション(専門家等）基礎科目講義一覧

ご　挨　拶

国際協力調達部では、JICA 専門家として各国に赴任される皆様に対し、「国際協力人材赴任前オリエンテーション（専門家等）」を実施しており、専門家の皆様が円滑に業務を開始いただくために必要な知識と情報をコンパクトにお届けします。

赴任前オリエンテーションはタイミングの制約なく受講（視聴）頂けるよう、オンデマンド形式で実施します。

皆様には赴任前のお忙しい時期とは存じますが、本オリエンテーションの趣旨をご理解の上、受講（視聴）頂きますよう、お願い申し上げます。なお、過去に赴任前研修を受講されたことがある方におかれましても、最新の情報にアップデートされていますので、情報のリフレッシュのために受講（視聴）いただきますよう、お願い申し上げます。

独立行政法人国際協力機構

国際協力調達部長

Ⅰ．国際協力人材赴任前オリエンテーションの概要

１． 目的

JICA 専門家が、赴任国において業務を円滑に開始するために必要な知識や情報等を習得することを目的としています。

２． 受講対象者

原則として、1 年以上派遣される長期専門家（全員受講（視聴）が必須となります。）。
派遣期間が 6 か月以上、1 年未満の短期専門家については、受講を希望される場合、JICA 案件主管部(プロジェクト等担当部)にご連絡ください。

３． 赴任前オリエンテーション受講（視聴）のタイミング

赴任前までにご視聴ください。受講完了確認は講義アンケート提出により確認させていただきます。

４． 科目内容

講義名	補足説明
オンデマンド科目（必修）	
基礎科目①	JICA 各部講師及び外部の講師により、専門家活動に必要な知識や情報を提供します。
基礎科目②「事業マネジメント科目」	外部委託講師による PCM 手法を取り入れた事業マネジメントに関する科目を実施します。

５． 受講（視聴）の流れ

（１）講義映像視聴同意書及び受講用 URL をお送りしますので、同意書に回答（リンク押下）の上、同 URL より各自講義の受講を行ってください。
（２）受講後、講義アンケート（受講案内中に URL あり）に回答いただくことで、受講完了の確認とさせていただきます。

６． その他

（１）準備

受講のための PC は各自でご用意ください。通信費ほか、視聴に必要な経費については自己負担となります。

（2）業務委嘱について

オンデマンド化に伴い、原則派遣前業務委嘱は行いません。

7. オリエンテーション窓口

国際協力人材赴任前オリエンテーシに関するお問い合わせは、こちらへご連絡ください。

JICA 国際協力調達部（研修管理室） Mail: jicaiic-desk@jica.go.jp

★受講対象の見方
PE…技術協力プロジェクト専門家（技術移型）
CA…技プロ専門家（チーフアドバイザー）

別添1　国際協力人材赴任前オリエンテーション(専門家等）基礎科目講義一覧

基礎研修①・②ともオンデマンド研修です。各自でPC及びインターネット環境をご用意ください。

		研修内容	研修内容・ねらい	PE	CA	PC	個別	備考
基礎研修①	1	**JICAの協力概要**	日本のODA概要、国際協力機構法に基づく、JICAの組織･役割、ならびにJICA事業の概要を理解する。	○	○	○	○	
	2	**ODA概要**		○	○	○	○	
	3	**技術協力概論**	技術協力の法的背景、目的、特徴、JICAの方針について理解する。	○	○	○	○	
	4	**在外経理・臨時会計役の業務（総論）**	予算及び在外経理の基本事項、並びに臨時会計役業務の基本事項を学ぶ。	○	○	○	○	
	5	**在外経理・臨時会計役の業務（演習）**	パソコン演習を通じて、臨時会計役の業務にかかる実務能力の向上を図る。	○	○	○	○	
	6	**長期専門家のコンプライアンス**	JICAにおけるコンプライアンスの意義と態勢を理解し、JICAと専門家との関係、「JICA関係者の倫理等ガイドライン」を踏まえて専門家としての遵守事項を確認する。	○	○	○	○	
	7	**調達・契約**	臨時会計役として、機材、ローカルコンサルタント等を調達する際に必要となる、調達・契約業務の基本ルール、現地調達実務において必要な手続きを理解する。	○	○	○	○	
	8	**キャパシティ・ディベロプメント**	ODA業務におけるキャパシティ・ディベロップメント(CD)について理解を深めると共に、JICA事業における理念の活かし方等を理解する。	○	○	○	○	
	9	**海外安全対策**	海外生活での安全管理/対策について学ぶ。	○	○	○	○	
	10	**健康管理**	海外生活での健康管理上の留意点等を理解する。	○	○	○	○	
	11	**福利厚生制度・共済会**	海外赴任に伴う福利厚生及び共済会の概要を理解する。	○	○	○	○	
	12	**専門家の待遇・諸制度**	長期派遣専門家の待遇・諸制度の概要を理解する。	○	○	○	○	
	13	**公用旅券の適正管理**	公用旅券の取扱いと適正管理について理解し、事故防止を図る。	○	○	○	○	
	14	**携行機材のしおりについて**	携行機材の適切な手続きについて理解を深める	○	○	○	○	
	15	**国際援助潮流と他機関とのパートナーシップ**	昨今の国際的な援助潮流とJICAが重視する課題やアプローチを理解し、現地での業務・活動に活かす。パートナーシップの重要性について理解を深め、他機関との連携の可能性を考えるきっかけを得る。	○	○	○	○	
基礎研修②	16	**事業マネジメント**	研修委託先の外部講師により実施します。 ■研修内容： 事例教材を用いて、技術協力プロジェクトの計画立案から、モニタリング、評価まで一貫して疑似体験する。 ■ねらい： ① PCM手法（計画立案、モニタリング・評価）の概念・内容、PCM手法の長所短所、補完するツールについて理解する。 ② PCM手法を踏まえ、プロジェクトの進捗と達成度、リスクを適切に監理でき、必要に応じてPDMの変更を提案できるようになる。 ③ 評価6項目の考え方を理解し、モニタリング結果を踏まえて、事業完了報告書を作成できるようになる。 ④オンラインでPCM手法の学習を通じリモートでの参加型活動の手法の参考になる。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	

研修内容・講義名称等、変更の可能性があります。

【資料を配布】

	研修内容	研修内容・ねらい	PE	CA	PC	個別	
自己学習	広報	JICA広報の目的･狙い･基本方針およびJICA広報活動を学び、専門家自身の広報活動の役割について認識を深め、実践を促す。	○	○	○	○	
	ジェンダー平等推進	ジェンダー平等推進におけるJICA事業での理念の活かし方を理解する。	○	○	○	○	
	持続可能な開発目標（SDGs）への取り組み	SDGsの概要について理解しJICAを含む国際社会の取り組みについて習得する。	○	○	○	○	
	平和構築	平和構築の考え方とJICAにおける実践例を理解する。	○	○	○	○	
	配偶者の経験談	随伴家族として赴任経験のある方々の座談会の様子を取りまとめた資料。赴任に際しての留意事項や現地での生活の様子を理解する。	希望者				